単施設研究用
（2023.7 改訂）

作成日：西暦 2026 年 10 月 9 日　第 2 版

～下記の研究を行います～

『骨盤領域組織内照射における組織内留置針の自然抜去に対する補正の逐次補正法の開発と線量分布に与える影響の評価』

【研究責任者】放射線治療科　田中 英一

【研究の目的】小線源治療は婦人科癌などの放射線治療において重要な治療方法の一つですが、アプリケータと呼ばれる器具を膣や子宮に留置した状態だと、時間と共に組織の浮腫や体動に伴う器具の抜けが発生することが知られています。本研究はその抜けに対する新たな補正方法を開発し、その評価を行うことを目的とします。
それに伴い、より誤差の少ない小線源治療を提供することができる可能性があります。

【研究の期間】研究許可日～2029 年 12 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の期間に当院で入院での小線源治療を施行された子宮頸癌・子宮体癌・膣癌の患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療録等から以下の情報を収集します。

・撮影された放射線画像および放射線治療のデータ

・電子カルテに入力された診療記録：年齢、身長、体重、BMI、既往歴、併存疾患、現病歴、内服歴、放射線治療の内容（線量・分割回数、外照射・化学療法の有無、アプリケータの種類、画像誘導方法など)、治療後の経過など

【情報等収集開始予定日】2026 年 11 月 9 日

【情報等の管理責任者の氏名】国立病院機構大阪医療センター院長　松村泰志

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（ＣＯＩ（ｼｰｵｰｱｲ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、情報等収集開始予定日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしませんが、あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂 2 丁目 1-14
TEL（06）6942-1331（代）
研究責任者　放射線治療科　科長　田中 英一